

開講30周年記念

募集
予告

令和7年度 講座

「丹波学」

もっと知りたい 丹波の歴史を彩った人と城

記念シンポジウム開催!

—— 令和7年5月下旬より募集開始 ——

会 場 丹波の森公苑 ホール

定 員 200名

受講料 6,000円
講義録付、講義5回+記念シンポジウム

●講師・講座タイトル（講義5回、シンポジウム1回）

- ①8月23日(土) ◆「明応の政変と丹波の勢力」古野 貢 氏
- ②9月6日(土) ◆「南北朝内乱と丹波武士」生駒 孝臣 氏
- ③9月27日(土) ◆「丹波の戦国山城 黒井城と八上城」山上 雅弘 氏
- ④10月4日(土) ◆開講 30 周年 記念シンポジウム
「本能寺の変の真相に迫る ～光秀はなぜ信長を討ったのか～」
渡邊 大門 氏、福島 克彦 氏、天野 忠幸 氏
- ⑤11月15日(土) ◆「織田軍団と対峙した丹波武士団」秦野 裕介 氏
- ⑥12月13日(土) ◆「古文書から見る篠山藩政の動き」今井 進 氏

※都合により内容が変更になる場合があります。

主 催：(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

問合せ先：丹波の森公苑 文化振興部 講座「丹波学」係
丹波市柏原町柏原5600 TEL：0795-72-5170



令和7年度 講座「丹波学」 講義日程・内容

第1回 8月23日(土) 14:00~15:30	「明応の政変と丹波の勢力」 戦国時代が始まるきっかけになったのではないかと注目されている「明応の政変」。そして、それに先立つ「丹波国一揆」。これらに丹波の勢力がどのように関わっていたのかについて考えていきます。 講 師 古野 貢 氏 (武庫川女子大学 教授)
第2回 9月6日(土) 14:00~15:30	「南北朝内乱と丹波武士」 古代から中世に至るまで朝廷や鎌倉・室町幕府から重視された丹波。だからこそ中央の政治的影響を大きく受けた丹波の武将たち。そんな彼らが、政局が大きく動く南北朝内乱期をどのように生き抜いたのかを考えます。 講 師 生駒 孝臣 氏 (花園大学 准教授)
第3回 9月27日(土) 14:00~15:30	「丹波の戦国山城 黒井城と八上城」 戦国時代末期、織田軍に立ち向かった荻野氏と波多野氏。その居城で丹波の三大山城にも数えられる黒井城と八上城について、丹波地域の織豊系城郭と比較しながら、その石垣や縄張りの特徴等を考えていきます。 講 師 山上 雅弘 氏 (兵庫県立考古博物館 名誉学芸員)
開講30周年 記念シンポジウム 10月4日(土) ※開始 13:20 終了 15:35	「本能寺の変の真相に迫る ～光秀はなぜ信長を討ったのか～」 甲斐の武田氏を滅ぼし、まさに天下統一を成し遂げようとしていた信長。その織田軍の中で丹波を平定し、確固たる地位を築いた光秀。この2人の間に何があったのか。3名の専門家により、光秀が信長を討った真の動機に迫ります。 ■基調講演 (講師は下記の3名) ■パネルディスカッション コーディネーター 渡邊 大門 氏 (歴史と文化の研究所 代表取締役) パネリスト 福島 克彦 氏 (城郭談話会 会員) 天野 忠幸 氏 (天理大学 教授)
第4回 11月15日(土) 14:00~15:30	「織田軍団と対峙した丹波武士団」 一度は織田軍団を退却させた丹波武士団。明智軍による丹波攻略に対して波多野氏や赤井氏などの丹波国の武士団はどのように対峙したのか。また、彼らはどのようにして丹波で力を蓄えたのかを考えていきます。 講 師 秦野 裕介 氏 (立命館大学 授業担当講師)
第5回 12月13日(土) 14:00~15:30	「古文書から見る篠山藩政の動き」 古文書を通して篠山藩政を語ります。藩主の帰国の際には庄屋がこぞってお出迎えするなど、以外と近かった知られざる殿様と領民の関係。同時期の織田藩 (柏原藩) にも触れながら江戸期の丹波を見ていきます。 講 師 今井 進 氏 (丹波篠山市市史編纂委員会 委員長)